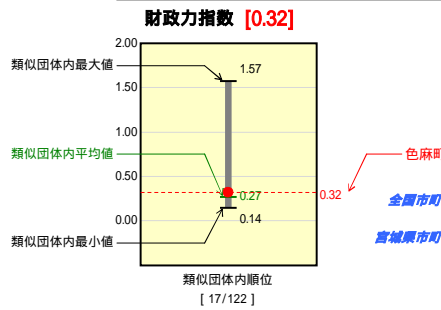


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

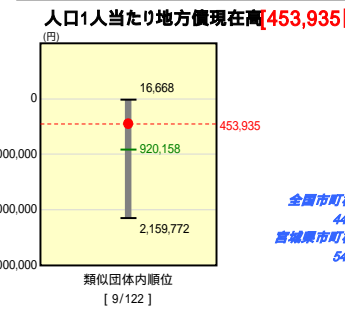
宮城県 色麻町

人口	7,694	人(H20.3.31現在)
面積	109.23	km ²
歳入総額	3,817,895	千円
歳出総額	3,624,690	千円
	169,361	千円

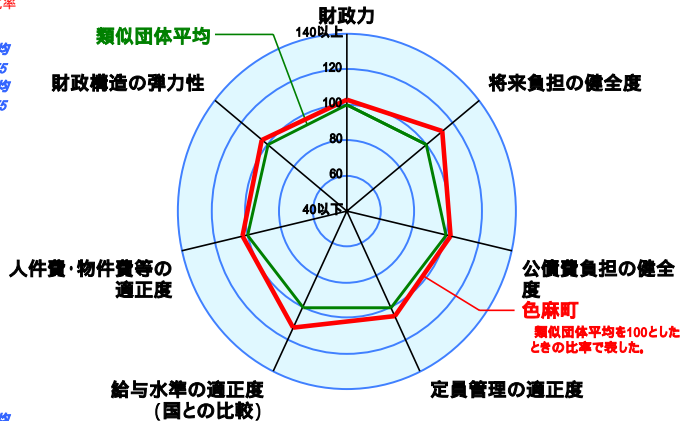
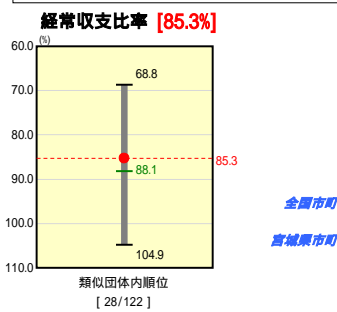
財政力



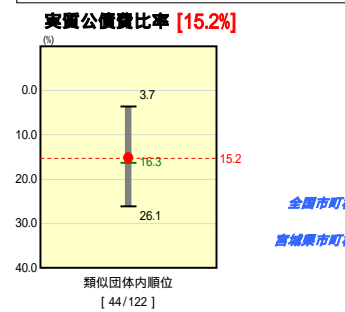
将来負担の健全度



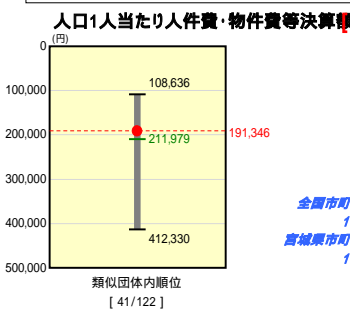
財政構造の弾力性



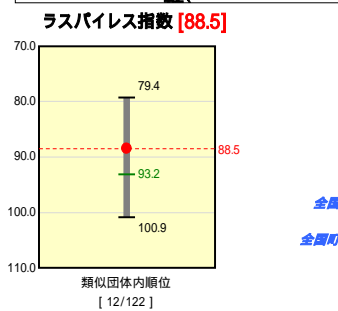
公債費負担の健全度



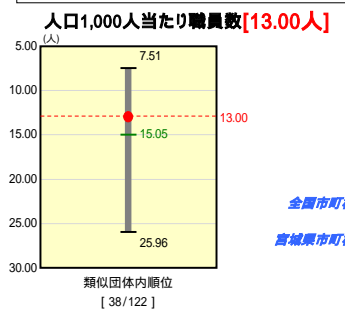
人件費・物件費等の適正度



給与水準の適正度 (国との比較)



定員管理の適正度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

分析概

財政力指数
近年、僅かながらも連続して伸びており、類似団体平均(0.27)を上回る0.32となった。人件費の削減、投資的事業の重点化、経常経費の削減等の歳出の見直しとともに、子育て支援・定住化促進等の人口増加策を柱とする歳入確保に努め、あわせて徴収の強化も継続することにより、財政力の向上を図る。

経常収支比率
近年、義務的経費や維持補修費が増額の傾向にあるものの、地方税や地方交付税の伸びにより経常一般財源が75百万円の増となったこともあり、前年より0.3%改善し85.3%となった。類似団体平均(88.1%)を下回ってはいるが、一部事務組合に対する負担金(加美郡保健医療福祉行政事務組合等)や特別会計への繰出金の増加により上昇するものと見込まれる。指定管理者制度導入の積極的な検討、町債発行の抑制等を通じて現在の水準を維持する。

人口1人当たり人件費、物件費等決算額
類似団体平均(211,979円)は下回っているものの、宮城県市町村平均(118,969円)を大きく上回っている状況にある。人件費については退職者の補充率25%(退職者4人に対し1人の採用)を継続することにより抑え、物件費については経常経費の抑制によって削減し、適正化に努める。

ラスパイレス指数
類似団体平均(93.2)より4.7ポイント良好な88.5となっている。今後とも人事院勧告等に基づく運用をおこない、給与水準の適正化を進める。

人口1人あたり地方債現在高
地方債の発行を抑制してきたため、類似団体平均(920,158円)より良好な水準にあり、今後も減少傾向にある。規模の大きな建設事業の計画もあるため、将来的には増加する恐れもある。

実質公債費比率
類似団体平均(16.3%)より良好な数値ではあるが、平成20年と平成21年が地方債償還のピークを迎えることや、地方債の償還の財源に充てたと認められる公営企業(下水道事業)への繰出金及び一部事務組合への負担金等の増加等により、上昇傾向にある。引き続き投資的事業に係る地方債発行規模を引き締め、公営企業の経営健全化を図ることによって現在の水準を維持する。

人口1,000人あたり職員数
類似団体平均(15.05人)より良好な数値であり、今後とも退職者の補充率25%(退職者4人に対し1人の採用)により適正化を進める。